

おれんじニュース

No.417

2025年2月



CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
石谷山:九千部山:権現山	5
岩永さん漫遊録②	6
福井谷散策	8
鎌倉山・普賢岳	9
おれんじカレンダー	10

ハイイロチュウヒ
諫早市で吉原氏撮影

2025年	2月	3月	時 間	場 所
専門部会 全体集会	22(土)	22(土)	13:30~14:30	西諫早公民館
			14:30~16:00	



月例山行案内

2月

* 下記は変更になる場合があるので、最終的には配布される計画書で確認願います

部	自然・山行部	技研部	ひまわり部
月/日(曜)	2/16(日)	2/23(日)～2/24(月)	2/28(金)
山名(行事)	オルレ奥豊後	恐羅漢山・深入山	帆場岳
地 図	朝地竹田	恐羅漢山(広島県)	長崎東北部
集合場所	西諫早駅 6:30	西諫早駅 6:30	緑地公園 9:00
難 易 度	体力 1/技術 1	体力 2/技術 2	体力 1/技術 1
帰着時間	19:30	2/24(月) 20:00	15:30
歩行時間	5.0h	5.0～6.0h	4.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	なし	1泊(いこいの村広島)	なし
温 泉	なし	有り	なし
参加費	4,100	2.0～2.5万	800
申込期限	2/9	2/1	2/24
集 約	今 坂	堺	田 中
備 考	日本最大級の摩崖仏や城跡、城下町など歴史薫る名所めぐり。	雪山訓練とハイキング(雪山装備要)	長崎へ入港する船舶の目標とされていたので、この名がついた。山頂からは長崎市内の山々が展望される。

3月

* 下記は変更になる場合があるので、最終的には配布される計画書で確認願います

部	技研部	ひまわり部	自然・山行部
月/日(曜)	3/1(土)	3/21(金)	3/23(日)
山名(行事)	郡岳	岩屋山	白口岳・立中山
地 図	郡岳	長崎北西部	大船・久住山
集合場所	郡岳南登山口 9:00	緑地公園 9:00	西諫早駅 6:30
難 易 度	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	体力 1.5/技術 1
帰着時間	16:30	15:30	19:00
歩行時間	3.0h	5.0h	4.5～5.5h
交通手段	マイカー乗り合せ	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし
参加費	800	800	5000
申込期限	2/22	3/16	3/16
集 約	堺	田中	今坂
備 考	救出からファーストエイドなど、コンパニオンレスキューの実地訓練	広々とした草原の山頂は、長崎市内が一望できます。	マンサクを見に行こう。

事務局より

オレンジHCのロゴマーク決定



オレンジHCのロゴマークが会員のアンケート結果により左図に決定しました。

今後はおれんじニュースの表紙などに使用したいと思います。

また将来的にはTシャツ等プリントして作成し、会員の一体感を強めるシンボルマークにしたいと思います。



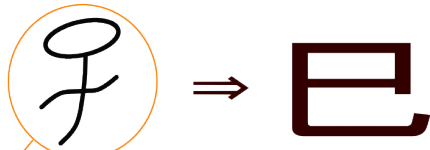
◇ 今年の干支「巳」について

・巳年のいわれ

復活と再生を意味する。植物の種子が出来る時期、次の新しい生命の誕生する時期、新しい事が始まる時期など。また、「巳」を「実」にかけて『実を結ぶ』年ともいわれる。

・「巳」豆知識

2025年度の干支は「乙巳」きみのとだが一般的には十二支を指すためここでは「巳」とする。十二支としては6番目、方位は南南東、巳の刻9時から11時、月は旧暦の4月、陰陽は陰、五行は火。



「へびの象形または、胎児の象形」



巳の字は胎児を表す象形文字、蛇が冬眠から覚めて地上に這い出す姿を現す。「起こる、始まる、定まる」などの意味がある。また、脱皮することから、新たな挑戦や変化に前向きになる意味もある。「巳」は動物では「蛇」になる。古来蛇は信仰の対象としており、豊穡神、天候神などとして崇められてきた。祭祀や祀り毎の「祀」に「巳」が用いられているのは、「祀」とは自然神を祀ることをいい、自然神の代表的な神格が巳「蛇」だった。

「蛇」は復活と再生を連想させる、餌を食べなくても長生きすることから「神の使い」として崇められ、全国に蛇神を祀っている神社が多い。例えば七福神の一つである「弁財天」は蓄財や芸能の女神だが、弁財天の死者や化身は蛇とされている。また、蛇の抜け殻を財布に入れるのは、蛇は脱皮を繰り返して成長することから金運や幸運を招くとされている。

蛇は執念深かいとされているが、恩をわすれず、助けた人には恩返しをするといわれている。

◇ 本の紹介 「バリ山行」 著者：松永 K 三蔵



・内容

会社も人生も山あり谷あり、バリの達人と危険な道行き圧倒的な実感を求め、山と人生を重ねて瞑想する純文山岳小説。

(第171回芥川賞受賞作品)

* 芥川賞に山岳小説が初めて選出

ヒイラギ



冬芽



◇ 県連より

・ストレッチ講座：2月6日(木)14:00～16:00 アリーナかぶとがに柔道場
講師：野口 信貴

・60 記念行事(2027年7月頃に)祝賀会、記念講演、記念誌発行の検討中。

・県連総会の日程 4月13日(日)13:30～17:00 長崎市民会館の予定。

・登山学校委員会：4月27日(日)「春の花鑑賞会」「由布岳東峰登山」* 東峰は健脚者対象

定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

実施日	1月11日	アンダーソンの末端処理	確保(ルペルソ使用)	肩確保	ナンキンワイヤー
場所	土師野尾ダム				
参加数	4名				



火曜登山

月 日	12/17 烽火山	12/24 帆場岳	1/7 郡岳
人数・時間	7名/3.0h	8名/4.0h	4名/3.5h
概要	片淵公園P～八気山～妙光寺～烽火山～建山～片淵公園P。八気山には初登頂、展望はないが歩きやすかった。妙光寺の紅葉は散り始めてイチョウの落葉が綺麗だった。尾根分岐までの登り20分は急坂でつらかった。	現川登山口～帆場岳～純真大～帆場岳～現川登山口。好天に恵まれて帆場岳からの展望も良く遠方まで望めた。純心大からの登り返しは急な登りで体力を消耗したが、程よい時間と距離により気持ちのよい山行となった。	野岳湖P～南登山口～郡岳～坊岩～西登山口～野岳湖P。曇天で無風の中、登り始めは霰や小雪交じりの天候で気温も低く、足を止めずに頂上へ山頂では多少晴れ間もあり、展望もまずまず、西側は微風に日差しがあって良かった。
備考	イチョウと妙光寺からの急坂  	帆場岳・ハナミョウガ  	登山道・坊岩  



水曜登山

月 日	12/18 稲佐山	12/25 番神山	1/8 岩屋山
人数・時間	8名/4.5h	7名/4.5h	6名/4.0h
概要	ドンク岩登山口～権現岩～スロープカー～稲佐山～遊歩道～ドンク岩登山口。権現岩を巻くコースはスリル満点、岩場の展望と残った紅葉を楽しみ稲佐山へ、ここからの展望も良かった。	彼杵道の駅P～妙法寺～番神山～270m 地点手前 300m～番神山～林道経由彼杵道の駅。2回目の番神山の城跡を通り尾根先の標高 270m 地点まで足を伸ばそうと思ったが、予想外に時間を要するためリタイアして引き返した。	油木町墓地P～九州自然歩道～岩屋山～十郎岳～市総合運動公園P。小雨の中岩屋山を目ざしてゆっくり進む。通称岩屋ジャンダルムを経由して十郎岳まで、展望を楽しんで帰宅。
備考	権現岩からの展望・紅葉  	妙法寺・松岳城址  	岩屋ジャンダルム・十郎岳より  

12/15 石谷山:九千部山:権現山

行 程

西諫早駅 7:30 一金立 8:20 一七曲峠登山口 9:05(出発 9:15)～石谷山 10:45～九千部山 11:45(昼食 30 分)権現山 13:45～柿の原峠 14:30～西諫早駅 16:20



概 要

九州自然歩道の木立周りの新雪と小雪舞う中、石谷山・九千部山・権現山の 3 座を踏破でき。10Km、5 時間 30 分の安全山行でした。

参加者

福田 工藤 吉川 堺 福岡 白石 浦 本多 国分 今坂

一言感想

*九千部山は登った事はありませんが、本日は初めてのコース。今年一番の冷え込みと、小雪。道はふかふかの歩きやすい所が多く、ピークも 2 つゲットできて楽しかったです。会ならではの縦走でしょうか。

*山頂は-5℃と寒かったが、落葉の綺麗なルートで疲れない楽しい山行でした。

*小雪舞い散る寒い中での縦走でしたが、綺麗な紅葉が残っていたのはラッキーでした。自然歩道は整備されていて歩きやすかったです。七曲峠から柿の原峠のコースは初めて歩いたので、参加して良かったです。



岩永さんの北海道漫遊記②

独りで山に登っていると山小屋や山麓の宿でいろいろな人との出会いがあった。尾瀬の宿で北海道のFさんと同じ部屋になり、北海道の山に1か月ほど行ってみたいと話していたら後日Fさんから北海道山旅計画書が送られてきた。室蘭港フェリーターミナルから登山口までのルート、かかる時間、登山終了後の宿泊施設など、およそ1か月間のとても詳細で親切な計画書であった。その計画書をほぼ忠実に実行して1か月間北海道の山々に登ったのが2002年の夏である。それからすっかり北海道の山旅に取りつかれた。コロナ期の2年間を除いて毎年北海道に渡っている。その最初の山旅となったFさんからの計画書を今も岩永さんは大切に保管している。

2002年のFさんの計画書による北海道山旅

- 1日目 室蘭港フェリーターミナル到着
羊蹄山自然BB公園真茹野営場
- 2日目 後方羊蹄山登山
- 3日目 ニセコアンヌプリ登山
- 4日目 雨龍湿原と南暑寒岳登山
- 5日目 サロベツ原生花園
- 6日目 利尻岳登山
- 7日目 礼文島花と岬のトレッキング8時間コース
- 8日目 宗谷岬、サロマ湖
- 9日目 羅臼岳
- 10日目 南岳・硫黄山縦走、カムイワッカの湯滝探勝
- 11日目 斜里岳登山口
- 12日目 斜里岳登山
- 13日目 雄阿寒岳登山阿寒湖畔コース
- 14日目 雌阿寒岳登山オンネトーコース
- 15日目 阿寒湖・オンネトー東大雪ウペペサンケ山登山
- 16日目 ニベソツ山登山
- 17日目 トムラウシ自然休養林キャンプ場
- 18日目 トムラウシ山登山
- 19日目 秘湯中の秘湯 吹上温泉露天風呂
- 20日目 十勝岳登山
- 21日目 天人峡温泉 名勝羽衣の滝
- 22日目 旭岳登山
- 23日目 美瑛の丘、旭岳温泉
- 24日目 芦別岳登山
- 25日目 東大演習林 幌尻山荘（翌年達成）
- 26日目 幌尻岳・戸蔭別岳縦走（翌年達成）



十勝岳



黒岳頂上



雌阿寒岳火口から背後に雄阿寒岳



道の駅 100 スタンプラリー達成

諫早から博多港に行きフェリーで直江津港、室蘭港に行っていたが、博多港からのフェリーがなくなってからは諫早から山口県小郡 IC で高速を降りて山陰の道の駅に 1 泊しながら舞鶴港まで車で走り、舞鶴港からフェリーで小樽港まで行っている。

山では山小屋の管理人さんからのアドバイスや注意を良く聞いていくと危険な目にあうこともなかった。熊には 1 度も会えることはなかった、ヒグマの方からよけてくれていたのかもしれない。

北海道 100 名山やその他の山々に登った。北海道では 2000M の山でも 3000M 級の山に咲く高山植物が咲いていて、黒岳には何度も登って、広い花園に魅了された。礼文島には 10 回ほど行き、礼文島固有の花々に出会った。

近年の北海道では登山だけではなく、車の長崎ナンバーを見て話しかけてきた長崎出身の方と知り合い、毎年パークゴルフを楽しんでいる。2005 年には北海道道の駅 100 か所スタンプラリーを達成した。地元の方と知り合い、無償でコンブ干しを手伝ったり、大工仕事を手伝ったり、時計の修理や農具の修理など頼まれてしている。今では遠い所に住む親せきのようになり、毎年岩永さんが来るのを待っていてくれる。

北海道から帰る時「行ってらっしゃい」、行った時「お帰りなさい」と声をかけられる。



コンブ干し



北海道の友が描いた似顔絵



大雪山系の山並み



黒岳頂上付近の花園



大雪山のコマクサ



コマクサ



チングルマの花(上)と綿毛(下)

12/1(日) 福井谷散策・福井洞窟ミュージアム&御橋観音

行 程：8:00 緑地公園発→彼杵道の駅→大塔 IC→佐々 IC→10:05 福井洞窟ミュージアム着/
展示品観覧～10:45 石橋群、橋梁群散策～11:50 直谷岩陰～直谷城主の墓地～12:35 福井洞
窟着/昼食 13:15 発～13:35 直谷城跡着/下山 14:00～バス停→バス、歩行～14:35 福井洞
窟ミュージアム着/14:50 車で移動→15:00 御橋観音到着/境内散策～15:30 現地で解散。

参加者：今坂、吉川、仲井、鎗水、高森 高田、山下ち、中須賀、田添、円能寺、西



散策概要：

吉井町「福井洞窟ミュージアム」に到着。

当日は文化祭が開催されていた。館内には旧石器時代から縄文時代迄の福井洞窟で発掘出土した土器や石器が展示。古代人の暮らしぶりや古代史を学んだ。

散策出発。平坦な舗装道を歩き佐々川とその支流に大正末期、戦時中に架けられたに石橋群と橋梁を見学。途中の直谷岩陰や直谷城主の墓地にも立ち寄る。

国史跡指定の福井洞窟に到着し昼食。指導者の下、弓矢で人形猪を射る体験を楽しんだ。

直谷城跡は石段と城通用路の坂道を登ると断崖と自然林に囲まれた本丸跡に着く。石像と祠が鎮座。城通用路を下りバス停に着。

バスと歩行班に分かれミュージアムで合流し車で御橋観音へ移動。紅葉が見頃だった。

奥入った所の中空に天然石橋が架かり荘厳な景観。散策終了後、現地解散。

一言感想：

※福井洞窟ミュージアムでは、古代人の生活ぶりを学べた。石橋群を見ながらのどかに町歩き、直谷城跡までの山歩きも楽しめた。

※福井洞窟ミュージアムの資料展示では、縄文人は小柄で華奢な体格であった事を知る。佐々川と福井川に架かる8基の石橋を見学、コンクリートの橋梁には竹筋を使用して建設された事を知る。直谷城跡は標高 179mの里山頂きにあり急坂の石段登りは疲れた。御橋観音寺では健康祈願を参拝した。

※ミュージアムで古代の展示物を見学後、石橋群を見ながらのんびりとウォーキング。福井洞窟に着き昼食、サプライズで弓矢射を体験し童心になって楽しんだ。直谷城跡には山城の説明掲示板が設置され山城を学んだ。三橋観音の紅葉は大変綺麗で散策を楽しんだ。



12/20(金) 鎌倉山・普賢岳

行程

緑地公園 9:00—虚空蔵公園 P9:30～鎌倉山 10:18～普賢岳 11:03～水洗山 11:37～普賢岳 12:00(昼食 30 分)虚空蔵公園 P11:33(展望台へ行く) P 出発 14:10～緑地公園 14:40



登山 概要

虚空蔵公園に車を止める。車道を歩く途中道が 3 つに別れる真ん中の道に行く。登山口にはピンクのリボンが下がっているの、見落とさないように。短時間で鎌倉山頂上に着く。テープ確認して下る。林道に出る。右側に電柱見える。そこに普賢岳の登山口あり。緩やかな尾根道を登り下りして自然を満喫しながらゆっくり歩く。普賢岳までの予定だったが、水洗山まで行きたいとの要望があり、時間にも体力的にも余裕があるので水洗山まで行く。帰路は来た道戻る、普賢岳で昼食、無事に虚空蔵公園に着く。展望台に行って 360 度の眺望を楽しんだ。今年最後のひまわり山行は、天気に恵まれ、安全で楽しい山行で終わる事が出来た。



参加者：福岡、今坂、松岡、高田、
中野、大久保、高森、

一言感想

- *気温は低かったけれど、天気が良く心地よい山行で気分爽快でした。
- *明るい森のふかふかの落ち葉の道をゆっくり登り下りして、3 座登頂しました。虚空蔵公園の展望台からは、大村湾や多良岳などの山々がくっきり見えて、ほんとうに気持ちいいひまわり部ならではの山行でした。
- *ひまわり山行は鎌倉山から普賢岳の予定でしたが、時間的にも体力的にも余裕があつて、水洗山まで足をのばしました。帰りには、展望台で小春日和の中、日光浴をたっぷり、楽しんできました。

おれんじカレンダー

2 月			3 月		
1	土	コンパニオンレスキュー	1	土	郡岳（技研部・コンパニオンレスキュー）
2	日		2	日	
3	月		3	月	
4	火	火曜登山（自主）	4	火	火曜登山（自主）
5	水	水曜登山（自主）	5	水	水曜登山（自主）
6	木	緑の地平線歩き（自主）	6	木	緑の地平線歩き（自主）
7	金		7	金	
8	土		8	土	
9	日		9	日	
10	月		10	月	
11	火	火曜登山（自主）	11	火	火曜登山（自主）
12	水	水曜登山（自主）	12	水	水曜登山（自主）
13	木	緑の地平線歩き（自主）	13	木	緑の地平線歩き（自主）
14	金		14	金	
15	土		15	土	
16	日	オルレ奥豊後（自然・山行部）	16	日	
17	月		17	月	
18	火	火曜登山（自主）	18	火	火曜登山（自主）
19	水	水曜登山（自主）	19	水	水曜登山（自主）
20	木	緑の地平線歩き（自主）	20	木	緑の地平線歩き（自主）
21	金		21	金	岩屋山（ひまわり部）
22	土	専門部会 全体集会	22	土	専門部会 全体集会
23	日	雪山ハイキング	23	日	白口岳・立中山（自然・山行部）
24	月	広島 恐羅山・深入山（技研部）	24	月	
25	火	火曜登山（自主）	25	火	火曜登山（自主）
26	水	水曜登山（自主）	26	水	水曜登山（自主）
27	木	緑の地平線歩き（自主）	27	木	緑の地平線歩き（自主）
28	金	帆場岳（ひまわり）	28	金	
			29	土	
			30	日	
			31	月	

川原顧問所掌 ➡ 緑の地平線歩き (9:00)、コンパニオンレスキュー(第1土曜 9:30) 緑地公園集合

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	鎗水 律夫
編集責任者	高田啓子
編集委員	工藤学、福田清人、吉原昌弘、陣川光子、西寿男、福岡正廣
発行年月日	2024/1/25
郵便振込口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com